

令和5年度

愛知県栄養教諭研究協議会

要 覧

I 協 議 会 の 紹 介

目的

学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

会長あいさつ

本協議会の会員は、愛知県内の小中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校などに勤務する、285名の栄養教諭・学校栄養職員です。それぞれの職場において、日々、学校給食の充実と食育の推進に務めています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響を受けた3年間は、児童生徒の給食の時間の過ごし方を大きく変えました。グループで楽しく給食を食べていたのが、前を向いて食べる黙食に変わり、静かな時間となりました。そのような中、少しでも楽しく過ごせるよう、栄養教諭・学校栄養職員は給食を味わって食べる活動を工夫したり、感染対策を行いながら、食に関する指導を継続したりしていました。また、コロナ以前には少なかった動画の作成にも取り組むなど、学びのある充実した給食の時間になるよう努めてまいりました。

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行されたことから、学校でも換気を確保しながら、さまざまな教育活動が可能になりました。給食の時間も、「これおいしいね」「おかわりまだある？」と少しずつ会話を楽しむ様子が見られるようになりました。一方で、引き続きマスク会食を続けている児童生徒もおり、コロナ禍の心理的影響が残っていると感じています。

このような予想不能な社会環境の中、児童生徒が望ましい食習慣を身に付けることは、健康な心身を育み、将来の健全な食生活を実践するために欠かせません。そのため栄養教諭には、学校の教育活動全体で食育を組織的に取り組むマネジメント力、教職員及び家庭・地域と連携した食に関する指導等、さまざまな場面でのコーディネート力を高めていくことが求められています。

令和5年1月に文部科学省より報告された「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」の議論の取りまとめの中には、「栄養教諭でなければ果たすことができない役割として、食に関する健康課題のある児童生徒に対する個別的な相談指導への環境整備を進めていくとともに、栄養教諭自身が児童生徒に寄り添い、児童生徒や保護者から頼られる存在へと自らを高めていくべき」と示されています。こうした役割を果たせるよう研鑽を積み、子どもたちの将来にわたる心身の健康のために、更なる食育の推進に取り組んでまいります。

関係機関の皆様には、今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 服部 裕子

活動目標

「食を通して育てよう、未来を担う愛知の子どもたち！」

基本方針

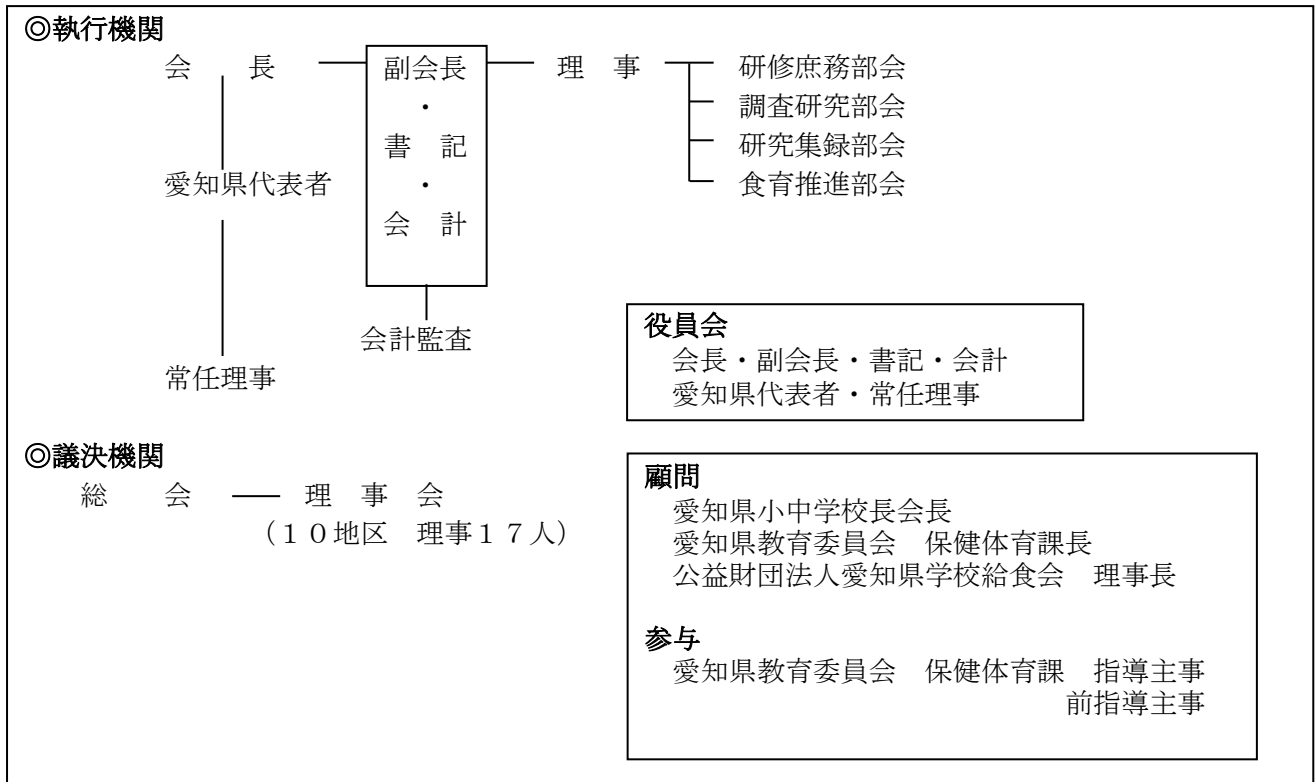
近年の食を取り巻く環境の変化により、子どもたちの食に関わる課題は多様化・複雑化している。偏った栄養摂取や不規則な食事などの食生活の乱れ、肥満や過度のやせ、食物アレルギー疾患など食に関する健康課題のある子どもたちは増加傾向にあり、今後の子どもたちの健全な成長に影響を及ぼすことが危惧される。

このような中、生きる力の基盤となる食を通して、次世代を担う子どもたちの望ましい食習慣の形成と生涯にわたる健康の保持増進、ならびに豊かな人間性を育むためには、栄養教諭等として専門性を発揮し、学校における食育の充実と一層の推進を図ることが大切である。

そのためには、「あいち食育いきいきプラン2025～第4次愛知県食育推進計画～」を踏まえ、学校教育活動において子どもの実態や地域の状況に沿った食育を計画的・継続的に推進するとともに、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」（文部科学省）の議論を受けて、研究や研修等を充実させることが重要である。

子どもたちの健やかな成長のために、栄養教諭等の専門性を高め、学校における食育の中核的な役割を担う教育職員としての資質向上を図る。

Ⅱ 研究会組織図



※常任理事（公益社団法人全国学校栄養士協議会 理事）
愛知県代表者（公益社団法人全国学校栄養士協議会 愛知県代表者）

愛知県栄養教諭研究協議会 会則（抜粋）

（本部）

第2条 本会の本部は、会長在任所属に置く。

（目的）

第3条 学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

（組織）

第4条 本会の会員は、愛知県内の栄養教諭・学校栄養職員等とする。

（事業）

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため、次のことを行う。

- (1) 学校における食育の推進と学校給食の充実向上に関する調査研究に関すること。
- (2) 会員の研修その他資質の向上に関すること。
- (3) 愛知県教育委員会その他関係団体との連携に関すること。
- (4) 会員の社会的地位の向上と職務の確立に関すること。
- (5) その他目的を達成するために必要なこと。

Ⅲ 協議会の事業

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
研修会 及び 総会の 開催	5月26日(水) 総会(書面表決書提出数288名) 事業内容及び収支等、協議会ホームページにて提案し書面表決を実施 ※研修会の代替(動画配信) 6月21日(月)～7月21日(水) 講演 「運動をする子どものための食事」 至学館大学 健康科学部 栄養科学科 准教授 杉島 有希氏	5月25日(水) 総会(出席264名・委任状21名) 《研修会》 講演 「家庭教育の意義と育成する資質・能力」 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科 教授 上野 顕子氏	5月24日(水) 総会(出席260名・委任状20名) 《研修会》 講演 「これからの栄養教諭の在り方」 愛知県教育委員会 保健体育課 指導主事 小田 敦子氏
研究大会 の開催	8月23日(月) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援でオンライン開催 (出席248名) ・地区別研究発表(3題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 伊藤 正志氏 ・教育講演会 「これからの学校教育で目指す食育における栄養教諭の可能性」 国立大学法人 愛知教育大学 生活科教育講座 教授 加納 誠司氏	8月 9日(火) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席255名) ・地区別研究発表(2題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 伊藤 正志氏 ・教育講演会 「令和の日本型学校教育を深める」 岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 玉置 崇氏	8月23日(水) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席262名) ・地区別研究発表(2題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 天野万喜男氏 ・教育講演会 「栄養教諭のキャリア発達 - チーム学校での専門性発揮のために -」 愛知みずほ大学 人間科学部心身健康科学科 准教授 後藤 多知子氏
調査研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究
研究集録 の発行	研究集録「はぐくみ」 令和4年3月(第31号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和5年3月(第32号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和6年3月(第33号)発行
機関誌を ホームページに 掲載	機関誌「みのり」 令和3年10月11日(第103号) 令和4年 2月16日(第104号) 年2回掲載	機関誌「みのり」 令和4年10月18日(第105号) 令和5年 2月15日(第106号) 年2回掲載	機関誌「みのり」 令和5年10月23日(第107号) 令和6年 3月11日(第108号) 年2回掲載

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自主研修会 開催	<p>◎食に関する指導研修会 ・第1回（オンライン） 12月11日（土） 参加者 187名 「令和の時代の手引を読む～『教育のための給食』をめざして～」 （株）健学社 月刊「食育フォーラム」編集長 吉田 賢一氏</p> <p>・第2回（オンライン） 2月 5日（土） 参加者 204名 「実例から学ぶ『食育だよりの魅せ方、伝え方』七つのヒント」 新聞教育支援センター 代表 吉成 勝好氏</p> <p>◎地区別研修会 14回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎中堅栄養教諭資質向上研修の フォローアップ研修会 1回開催 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏</p>	<p>◎食に関する指導研修会 ・第1回（オンライン） 10月22日（土） 参加者175名 「発達障害のある児童生徒の理解と支援」 愛知県総合教育センター相談部 特別支援教育相談研究室 研究指導主事 柴田 朋宏氏</p> <p>・第2回（対面） 11月27日（日） 参加者135名 「楽しくなきゃ社会じゃない！～ 全員参加型授業にご招待!!」 名古屋芸術大学 教育学部 子ども学科 准教授 土井 謙次氏</p> <p>◎地区別研修会12回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 新規採用栄養教諭研修 9月11日（日） 中堅栄養教諭資質向上研修【後 期】終了後のフォローアップ研修 7月24日（日）</p>	<p>◎資質能力向上研修会 ・第1回（対面） 12月17日（日） 参加者 153名 「個別的な相談指導をすすめるた めに」 愛知県教育委員会 保健体育課 指導主事 小田 敦子氏</p> <p>・第2回（ハイブリット） 2月18日（日） 参加者 181名 「食物アレルギー対応の基礎基 本」「献立作成の基礎基本」「学 校給食献立表に関する表記方法」 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>「個別的な相談指導の実際」 大治町立大治南小学校 森田 咲紀氏 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 「食に関する指導を学び直す」 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏</p> <p>◎地区別研修会 15回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭少経験者研修会 12月 3日（日） 中堅栄養教諭資質向上研修【後 期】修了者研修会 11月23日（木）</p>
栄養指導用 教材作成	食に関する指導教材「あいちの 農産物資料集（CD）」を作成 教材運搬用バッグの作成	食に関する指導教材 「スタンプ（ゴム印）」を作成	食に関する指導教材 「ネームホルダー用ストラップ、 ご褒美シール」を作成

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全国理事会等の参加 (1)公益社団法人全国学校栄養士協議会の参加	東京都・リモートにて14回	東京都・リモートにて14回	東京都・リモートにて21回
(2)学校給食夏季講習会派遣	第57回学校給食夏季講習会 7月17日～19日 オンライン形式・動画配信	第58回学校給食夏季講習会 7月16日～17日 オンライン形式・動画配信	第59回学校給食夏季講習会 7月22日～23日 オンライン形式・動画配信
(3)全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会参加	第62回 8月5日～8月6日 (群馬県)オンライン形式	第63回 8月4日～8月5日 (大分県)オンライン形式	第64回 8月3日～8月4日 (鳥取県)対面開催
役員会の開催	13回開催(リモート開催含む)	8回開催	18回開催(リモート開催含む)
理事会及び部会の開催	6回開催 (書面含む) 部会 ・研修部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会 ・庶務部会 「第17回食育推進全国大会 in あいち」打ち合わせ会3回開催	7回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会 「第17回食育推進全国大会 in あいち」参加	7回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会

IV 栄養教諭の取組

◎生活習慣病の予防を意識して、適切な量の野菜を食べる子の育成

野菜摂取量に着目した指導実践例（愛西市）

愛西市が行った16歳以上のアンケート結果から、野菜の摂取量が少ないことが分かった。また、市の疾病状況から、生活習慣病が死因の5割を超えており、糖尿病性腎症等による人工透析患者数は、人口1万人当たりの数値で見ると県内の町村を除く市部で第1位となっていた。そこで、小学生の段階から生活習慣病の予防を意識して適切な量の野菜を食べる習慣を身に付けさせたいと考え、実践を行うことにした。

手で必要な量の野菜を確認できる「手ばかり」を取り入れた「野菜摂取チェックカード」を作成した。カードを活用して自分自身の野菜摂取状況を定期的に振り返らせることで、野菜を積極的に食べようとする意欲を継続させ、適切な量の野菜を食べる行動につなげることを目指した。給食の時間や朝の会、学級活動を活用して、生活習慣病予防に役立つ野菜の働きや必要量を知らせ、苦手な野菜を減らさず食べようとする意欲を高めた。これらの取組により、生活習慣病予防を意識して、適切な量の野菜を食べる児童が増えたことが分かった。今後は、小学校での学習を踏まえ、中学校でも栄養教諭が教科担任と連携してより発展した指導を継続して行い、望ましい食習慣が定着するようにしていきたい。

<p>★1回の食事で「必要な量」</p> <p>●生の野菜・・・両手に1ばい (サラダなど)</p> <p>●火を通した野菜・・・片手に1ばい (あえものや具だくさんのみそしるなど)</p>				
<p>できたこと、できなかった理由、気づいたことなどを書きましょう。</p>				
野菜の量	朝	昼	夜	ふりかえり
必要な量を食べた				朝はあまり食べないが野菜の量も少ないので、16日だけはたまたま外食でいつもより野菜はたやまかてた。
必要な量よりは少ないが食べた	○	○	○	
食べなかった				
必要な量を食べた		○	○	朝をちゃんと必要な量をたべれるようにかんはります。
必要な量よりは少ないが食べた	○			
食べなかった				

【野菜摂取チェックカード】

◎栄養バランスの整った朝食の大切さを理解し、主食・主菜・副菜のある朝食を食べる子の育成

学級活動の食に関する指導を軸にした朝食チェックカードの活用した指導実践例（常滑市）

令和元年度に近隣3市町が共同で行った朝食に関する調査では、朝食摂取割合が、愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2020」の目標を大きく下回る結果であった。また、朝食は食べていても内容が乏しく、主食とおかずを組み合わせる食べている児童が少なかった。そこで、同様の調査結果が出ていたA小学校を研究対象校とし、4年生から6年生までの3年間で、継続した指導を行った。

学級活動や給食の時間を中心に食に関する指導を行い、指導直後にチェックカードを使い、各自の朝食内容の振り返りを行った。発達段階に合わせて、4年「朝食の大切さを知る」5年「栄養バランスを理解する」6年「自分で献立を考えて実践する」といった取組とした。6年生の献立作成にあたってはICTを活用して献立の栄養バランスを見える化し、児童の興味関心を高め、よりよくしたいという意欲を引き出した。また、児童が取り組んだチェックカードには保護者のコメント欄を設けることで、家庭への啓発に繋がった。

3年間の取組による成果として、不足するおかずや食品を朝食に付け足す児童を増やすことができた。個々には自分の課題を見つけ、克服していこうとする様子が見られた。ICTを活用することでより効果的に指導ができると感じたので、学校や家庭で活用できる動画や写真等の教材作りや発信方法などをさらに工夫し、多くの児童が栄養バランスの整った朝食を食べる習慣が身に付くよう継続して働きかけていきたい。



【発表する児童の様子】

◎「地場産物を活用しよう」

学校給食で地場産物を活用することは、児童生徒や保護者が地域や地域の産物、食文化への理解を深め、より豊かな食生活を送るための意欲を高める機会となる。愛知県では、6月19日の「食育の日」を中心に「愛知を食べる学校給食の日」等の名称で年3回、学校給食に地場産物を取り入れた献立を提供し、おたより等で啓発したりする取組を行っている。

地域の食材を取り入れた献立と取組の紹介

田原市

田原市では、「愛知を食べる学校給食の日」の取組として、田原市でとれる青のりや田原市産キャベツを使用して作ったコロッケの他、愛知県でとれる食材を多く使った給食を提供した。啓発資料には、愛知県の郷土料理に関するクイズを掲載し、児童生徒の興味関心を高める工夫をした。



とりめし
牛乳
キャベツのコロッケ
青のりのみそ汁
フローズンヨーグルト

【愛知県や田原市の食材を中心とした献立】

6月17日(金)

いただきます

とりめし 牛乳 青のりのみそ汁
キャベコロ フローズンヨーグルト

たはらの
しよくざい こめ、あおのり

6月13日～17日は たはら食育週間です

愛知を食べる 今日、田原市をはじめ、愛知県で
学校給食の日 とれた食材を多く使った給食です。
地元恵みを味わって食べましょう。

今日の給食で使われている愛知県産の食材

- とりめし 田原市産のコンヒカリ 愛知県産のとり肉、油あげ
- 牛乳 愛知県で育った牛の牛乳
- 青のりのみそ汁 田原市産の青のり 愛知県産の豆腐、ねぎ
- キャベコロ 田原市産のキャベツ
- フローズンヨーグルト 愛知県産の生乳を使ったヨーグルト

クイズ

愛知県の郷土料理の「とりめし」は、別名何と呼ばれるでしょう。

Q. ①かきまわし ②こっこごはん ③つつまぶし

A. ①かきまわし
愛知県では、「とりめし」などの混ぜご飯を、「かきまわし」と言う地域があります。これは、ごはんと具をしっかりかき混ぜることからです。

【啓発資料】

碧南市

碧南市では「愛知を食べる学校給食の日」の取組として、碧南市の新たまねぎや愛知県の食材を使った給食を提供した。食育だよりでは、碧南市の特産物で6月頃に旬を迎える赤しその生産者の紹介や、赤しそを使った給食レシピを紹介し、碧南市の食材についての理解を深める機会とした。



ごはん
牛乳
ニギスフライ
チンゲンサイのカラフルサラダ
碧南産たまねぎのみそ汁
蒲郡みかんゼリー

【碧南市の食材を中心とした献立】

食育だより

令和4年6月16日
2号
碧南市教育委員会

『愛知を食べる学校給食の日』献立

ごはん、牛乳、ニギスフライ、チンゲンサイのカラフルサラダ
碧南産たまねぎのみそ汁、【小中】蒲郡みかんゼリー【特】蒲郡みかんゼリー

6月は「食育月間」です。給食では、6月17日を「愛知を食べる学校給食の日」とし、愛知県産や碧南市の産物を紹介する献立が登場します。

【小中】蒲郡みかんゼリー【特】蒲郡みかんゼリー
蒲郡市産のみかんを使ったゼリーです。

【チンゲンサイのカラフルサラダ】
碧南市産と安城市産のチンゲンサイときゅうりを使用しています。チンゲンサイ、きゅうり、とうもろこし、トマト、塩昆布で色鮮やかなサラダです。

【ニギスフライ】
愛知県で水揚げされたニギスを使っています。

【牛乳】
愛知県産

【ごはん】
碧南市産

【碧南産たまねぎのみそ汁】
碧南市産のたまねぎとなす、愛知県産のみつばを使って作ります。生揚げは、碧南市内の豆腐屋さんが作ったものです。愛知県産の大豆で作った味噌と、さまざまな食材のうま味が溶け込んだみそ汁です。

へきなんニュース！ 碧南市の畑が赤色に染まる!?

碧南市は、愛知県唯一の「赤しそ」の産地です。5月下旬から7月上旬にかけて、赤しその最盛期となり、畑には赤しその絨毯が広がります。碧南市の赤しそは、葉の上部分だけを刈り取っているため、根や茎がついておらず、手間をかけずに梅干しやジュースに使うことができます。

（赤しそが出回るまで）

3月上旬から4月上旬にかけて播種をします。

6月中旬ごろから、葉刈機（赤しその葉を刈る機械）で収穫をします。

おろし水を入れて、手作りで洗い洗います。

脱水機で水気を絞ります。

JAあいち中央では、11軒の農家さんが丹精込めて赤しそを育てています。

とてもおいしいピンク色♪
【赤しどソース】

給食では、豆腐ハンバーグに赤しどソースをかけてました！

（作り方）

赤しそ（葉出し用）	9枚	・さとう	40g
赤しそ（茎出し用）	1枚	・みりん	20g
水（葉出し用）	100g	・塩	少々
酢	40g	・でんぷん	小さじ1
・白しょうゆ	20g		

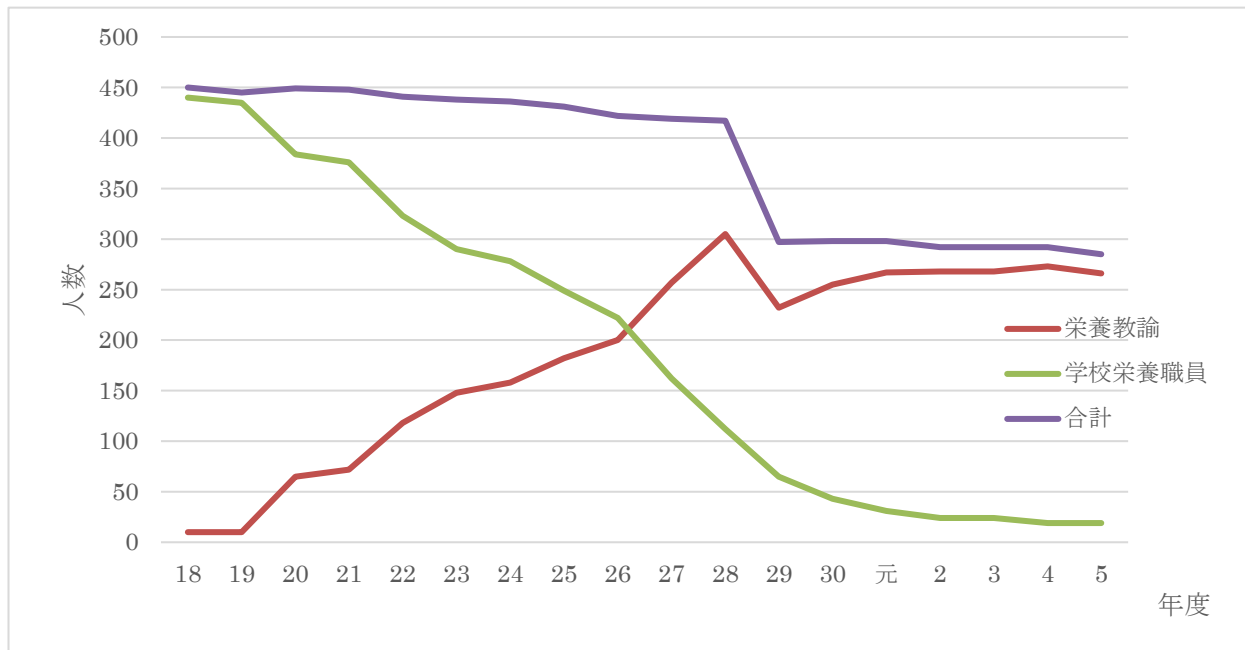
①赤しそを洗い、きざみ用の赤しそをみじん切りにする。でんぷんは、水で溶いておく。
②赤しそを葉だし、茎を絞り出す。
③刺んだ赤しそ・酢・白しょうゆ・さとう・みりん・塩を加え、味を調える。
④氷おろしでみじんを加え、とろみをつける。

*JAには説明資料も用意しております。興味があればお借りください！

【食育だより】

V 栄養教諭・学校栄養職員の配置状況

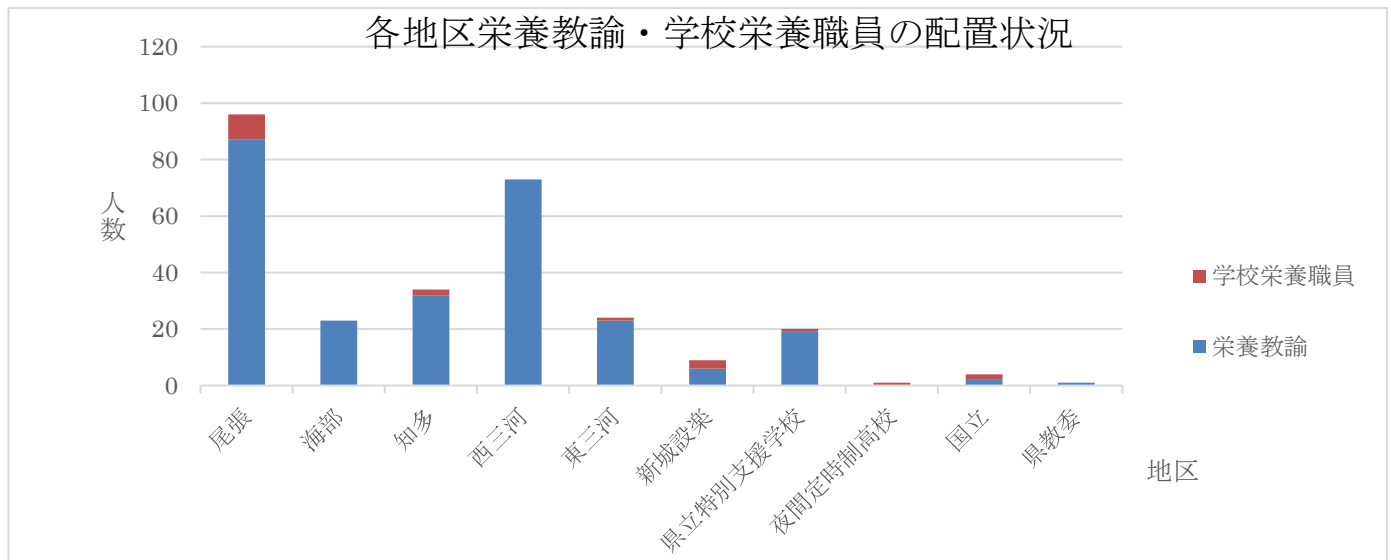
栄養教諭・学校栄養職員の配置数の推移



年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
栄養教諭	65	72	118	148	158	182	200	257	305	232	255	267	269	269	271	264
学校栄養職員	384	376	323	290	278	249	222	162	112	65	43	31	24	20	17	17
合計	449	448	441	438	436	431	422	419	417	297	298	298	293	289	288	281

※令和5年度 本協議会調査より
他に栄養教諭の充て指導主事を平成20年度から1名配置
権限移譲のため、平成29年度から名古屋市を除く
国立、市町村採用は除く

各地区栄養教諭・学校栄養職員の配置状況



各教育事務所等	尾張	海部	知多	西三河	東三河	新城設楽	県立特別支援学校	夜間定時制高校	国立	県教委 (栄養教諭指導主事)
栄養教諭	87	23	32	73	23	6	19	0	2	1
学校栄養職員	9	0	2	0	1	3	1	1	2	0

※令和5年度 本協議会調査より
市町村採用除く

VI 沿革

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
49	6	学校栄養職員を教育的専門職員として制度上明確化			
	11	97名の学校栄養職員の県費負担職員に切り替え			
	12	第1回学校給食調理コンクール開催			
50	4			愛知県学校栄養職員研究協議会発足	初代 高木 節子
	11	第2回中日本学校給食研究協議会及び全国学校給食総合センター運営協議会を愛知県で開催			
51	4	学校給食に米飯導入			
52	8			全国夏季講習会開始・参加	
	3			機関紙「みのり」発刊 総合研究発表大会	
53	1	「米飯給食献立集」を作成し、全校に配布			2代 遠山 香代子
	3	「学校給食の管理と指導（三訂版）」発行			
54	11	児童生徒の家庭における栄養調査、食事状況等調査及び体位、体力調査実施			
	3	「学校給食の栄養指導」発行			
55	7	小中完全給食実施校で100%米飯給食実施			
56	4	「主査」制度開始			
		「学校給食栄養基準量」改定			
	7	第16回全国高等学校給食協議会を開催			
	1			学校給食週間中、統一献立「カレーの日」を実施	
57	6		「日本学校健康会法」公布		
	7		特殊法人日本学校健康会設立		
58	3	「学校給食の栄養価早見表（改訂版）」発行	「新学校給食の手引き」刊行		3代 佐々木 禰慧子
59	4			校長会給食委員会合同研究参加	
	11	第34回愛知県学校給食大会開催（学校給食法制定30周年、愛知県学校給食総合センター設立10周年記念）			
	3	「学校給食の管理と指導（四訂版）」発行			
60	12		「日本体育・学校健康センター法」公布		
	3	「愛知県学校給食栄養基準量」改定	「学校給食の食事について」、「学校栄養職員の職務内容について」		
62	4	小中学校米飯給食実施校の回数が、週2回以上実施			
63	7		文部省の「学校給食課」と「学校保健課」が統合し、「学校健康教育課」が発足		
	3	「特殊教育諸学校における所用栄養量の基準」を算出			
元	11		学校給食100周年記念大会を開催		4代 山崎 璋子
2	4	「主任専門員」誕生	新規学校栄養職員研修が始まる		
3	4		中堅学校栄養職員研修が始まる		
	3	「学校給食の管理と指導（五訂版）」発行			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
4	7		「学校給食指導の手引き」発行		4代 山崎 璋子
5	4	中学校学習指導要領改訂「個性を生かす教育」生活科の新設「技術・家庭科」男女共学、「食物」35時間へ「栄養素の機能・正しい食品の選択」を重視			
6	4	高等学校「家庭科」を男女必須へ			
	3		体育局長通知「学校給食の食事内容について」が出され、「学校給食所要栄養量の基準」が改定		
7	5			「20周年記念誌」発行	
	11			愛知県学校栄養職員研究協議会文部大臣表彰	
8	4	教育長通知「学校給食の食事内容（標準食品構成表の改訂）について」 愛知県教育委員会保健体育課に専門員が配置される			
	7		腸管出血性大腸菌O157による食中毒の発生		
	8		体育局長通知「学校衛生の基準」の一部改正	「衛生管理面に配慮した献立の工夫－研究授業方式による衛生管理研究会－について」実施開始	
9	4	「学校給食における生野菜の取り扱いについて」通知	体育局長通知「学校給食における衛生管理の改善充実及び食中毒発生の防止について」の中で、「学校給食衛生管理の基準」が示される 「保健体育審議会」答申で、新たな免許制度の導入による学校栄養職員の資質向上策の必要性を指摘される		
10	6		「『食』に関する指導の充実」について通知がなされ、学校栄養職員を特別非常勤講師に活用する取組の推進が図られる		
	12	「特別非常勤講師としての学校栄養職員の活用について」を通知	「小学校及び中学校学習指導要領」改訂		
	3	「学校給食の管理と指導（六訂版）」発行			
11	4	政府米を自主流通米（愛知県）に切り替え			
	5		「学校給食における食事内容について」改定		
13	4	パンの新規格4種類と白玉うどんが給食に登場			6代 住井 久子
	10	第52回全国学校給食研究協議大会を愛知県で開催			
	3		食生活に関する学習教材及び指導用解説書が作成される		
14	4		中学校学習指導要領改訂、「生きる力」の育成、「総合的な学習の時間」の新設、「中央教育審議会」答申で栄養教諭（仮称）制度などの創設を提言		
15	8	「食に関する指導者養成講座」を開催			
	9	給食にラーメン登場			
	3	「学校栄養職員執務記録簿について」を通知			
16	5		「学校教育法等の一部を改正する法律案」が成立栄養教諭が配置できることになる 栄養教諭制度の創設、施行		
17	4				
	6		「食育基本法」成立		
	7		第一回食育推進会議開催		
	8	第46回全国栄養教諭・学校栄養職研究大会を愛知県で開催			
	3		「食育推進基本計画」が食育推進会議で決定される。		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
18	4	任用替え試験により10名の栄養教諭の誕生			7代 林 紫
	5			愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会に名称変更	
	11	「あいち食育いきいきプラン」第1次計画の策定		愛知県食育推進会議関係団体となる	
	2			「30周年記念誌」発行	
	3		「食に関する指導の手引」発行		
19	7			食に関する指導研修会（自主研修会）開始	
	3		「学習指導要領」改定（学校における食育の推進が明記される）		
20	4	任用替え試験により67名の栄養教諭の誕生（市町村1名配置） 愛知県教育委員会健康学習課指導主事として栄養教諭が着任	小・中学校学習指導要領が公示 小中学校間共通の家庭科内容の体系化		
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」発行 「学校給食調理場における手洗いマニュアル」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアルPart1」発行 「食生活学習教材児童生徒用と指導者用」作成		
21	4	新規栄養教諭採用開始	学校給食法が昭和29年施行以来の大幅改正 学校給食の主な目的が従来の「栄養改善」から「食育」に転換 「学校給食実施基準」全面改正（摂取基準の改定） 「学校給食衛生管理基準」制定		
	6		「食育基本法」最終改正		
	3	「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成	「食に関する指導の手引（第一次改訂版）」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアルPart2」発行		
23	5	「あいち食育いきいきプラン2015」第2次計画の策定			
	2	「愛知県学校食育推進の手引」発行			
	3		「学校給食調理従事者研修マニュアル」発行		
24	4			愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会運営検討委員会発足	
	12		新年度の学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について通知		
	3	「愛知県学校食育推進の手引《実践編》」発行 学校給食モニタリング事業の実施（放射性物資の有無及び量について）			
25	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		8代 杉浦 立子
	7		学校給食における窒息事故の防止について通知		
	10	就学児保護者向け朝食啓発資料 「「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをつくらうリーフレット」発行			
	11	「学校食育資料（高校生向け資料）」発行			
	3		「学校給食施設設備の改善事例集」発行		
26	3	「学校給食の管理と指導（七訂版）」発行 「学校給食における食物アレルギーヒヤリハット事例集」発行	「学校給食における食物アレルギー対応指針」発行		
27	2	「学校における食物アレルギー対応の手引」発行			9代 杉野 由起子
	3			「40周年記念誌」発行	

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長	
28	1	「学校における食物アレルギー対応保護者向けリーフレット」発行			10代 林 紫	
	3		「学校指導要領」改訂(学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育の推進が示される) 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」発行			
29	11	「愛知県教員育成指標(栄養教諭)」の策定			11代 古林 郁子	
30	8		学校給食実施基準の一部改正について施行			
	1	「学校における食物アレルギー対応の手引～特別支援学校版～」発行				
	3		「食に関する指導の手引(第二次改訂版)」発行			
元 (31)	5			愛知県栄養教諭研究協議会に名称変更	12代 小田 敦子	
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」発行 新型コロナウイルス感染症対策のため、3月2日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、全国一斉臨時休業になる。			
2	4	愛知県に緊急事態宣言が発令されたため、4月7日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、臨時休業が延長になる。				
	5	5月18日から24日まで学校再開準備期間となる。 5月25日から、分散登校・時差登校を基本として、学校を再開する。				
	6	6月1日から通常授業になる。				
	3	愛知県食育推進会議(会長:愛知県知事)において、「あいち食育いきいきプラン2025～第4次愛知県食育推進計画～」が作成される。	「第4次食育推進基本計画」が食育推進会議(会長:農林水産大臣)で決定される。			
3	4		学校給食実施基準の一部改正について施行			
	5					13代 堀端 千鶴
	9			地区別研修会(自主研修会)開始		
	3	「愛知県学校食育推進の手引ー第1次改訂版ー」発行				
4	6			第17回食育推進全国大会 in あいちに出展		
	7			栄養教諭経験年数別研修会(自主研修会)開始		
5	1		養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議 議論の取りまとめ」報告出される。		14代 服部裕子	
	4		健康日本21(第三次)の運用開始			
	5					
6	2			資質能力向上研修(自主研修会)開始		

VII 令和5年度 愛知県栄養教諭研究協議会役員・理事名簿

会 長	服 部 裕 子	稲沢市立大里東小学校
副 会 長	池 田 明 美	西尾市立一色南部小学校（西尾市学校給食センター）
〃	重 田 玲 子	豊田市立豊田特別支援学校
書 記	毛 利 敦 子	一宮市立浅井中学校（一宮市北部学校給食共同調理場）
〃	戸 本 綾 子	春日井市立篠木小学校（春日井市東部第2調理場）
会 計	平 林 加 奈	安城市立桜町小学校（安城市北部学校給食共同調理場）
県代表者	森 田 咲 紀	大治町立大治南小学校
常任理事	杉 野 由起子	瀬戸市立にじの丘小学校

【地区理事】

愛 日	松 井 日香里	北名古屋市立栗島小学校（北名古屋市給食センター）
〃	周 防 明 子	瀬戸市立西陵小学校
〃	栗 木 公 美	日進市立北小学校（日進市立学校給食センター）
中 島	前 田 美 香	一宮市立丹陽南小学校（一宮市南部学校給食共同調理場）
〃	原 野 良 子	稲沢市立平和中学校（稲沢市立平和町学校給食調理場）
丹 葉	河 合 聖	大口町立大口中学校（大口町学校給食センター）
海 部	佐 藤 香 名	津島市立神守中学校（津島市神守学校給食共同調理場）
知 多	山 本 紀 子	武豊町立富貴小学校（武豊町学校給食センター）
〃	谷 山 永里子	大府市立大府南中学校
西 三 河	榊 原 由実子	岡崎市立福岡小学校（岡崎市南部学校給食センター）
〃	近 藤 万美子	刈谷市立雁が音中学校（刈谷市第二学校給食センター）
〃	中 川 聡 恵	西尾市立福地南部小学校
豊田みよし	柴 田 有 里	豊田市立平和小学校（豊田市平和給食センター）
新城設楽	清 水 友梨香	新城市立千郷小学校
東 三 河	神 谷 真 奈	豊川市立一宮中学校（豊川市学校給食センター）
〃	山 本 加奈子	豊橋市立福岡小学校（豊橋市南部学校給食センター）
特別支援	都 築 朋 代	愛知県立三好特別支援学校